LED直管形蛍光灯 epicol エピカル

株式会社ファイブスター・エンタープライズ
FIVESTAR ENTERPRISE CO.,LTD

取扱説明書

⚠ 警告

●製品の分解や改造をしないで下さい。感電、火災の原因となります。
●取付や取外し、清掃の際には必ず AC 入力を切って下さい。感電の原因となります。
●製品を紙や布などで覆ったり、燃えやすいものを近づけないで下さい。火災の原因となります。
●安定器を持つ回路に接続してのご使用はできません。必ず、点灯管・安定器の配線を取外して下さい。 破損、火災の原因となります。
●配線変更工事は、電気工事有資格者により施工して下さい。感電、ケガの原因となります。
●必ず規定の電圧にてご使用下さい。

⚠ 注意

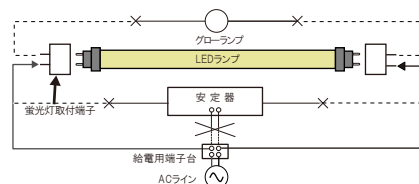
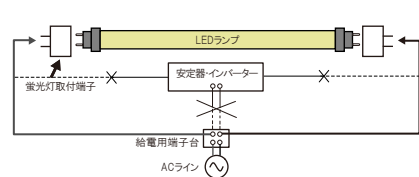
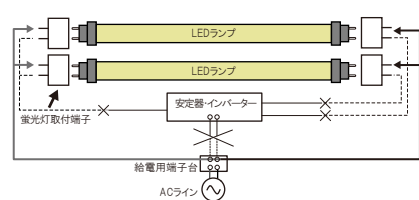
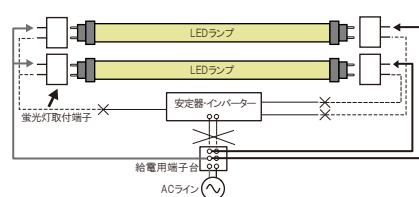
●必ず適合した器具でご使用下さい。短寿命、過熱の原因となります。
●製品を落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたり傷をつけたりしないで下さい。破損、ケガの原因となります。
●ソケット及びランプホルダに確実に取付て下さい。落下、ケガ、過熱の原因となります。
●器具の引きひもを強く引っ張ったり、製品に絡ませないでください。破損、ケガの原因となります。
●ガソリン、過熱性スプレー、シンナー、ラッカーなど引火性物質のあるとろこで使用しないで下さい。火災、爆発の原因となります。
●点灯中や消灯直後は、本体周辺に触れないで下さい。火傷の原因となります。
●雨や水滴のかかる場所、湿度の高いところで使用しないで下さい。破損、短寿命、落下、絶縁不良、ケガの原因となります。
●酸などの腐食性物質のあるところで使用しないで下さい。腐食、漏電、落下の原因となります。
●振動や衝撃のあるところで使用しないで下さい。破損、落下、ケガ、不点灯、過熱の原因となります。
●製品に塗料などを塗らないで下さい。過熱、破損、ケガの原因となります。
●粉塵の多いところでのご使用は避けて下さい。過熱、短寿命の原因となります。

使用上のご注意

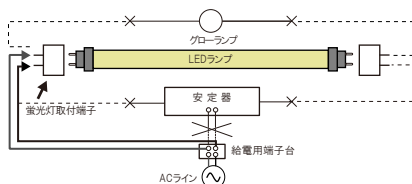
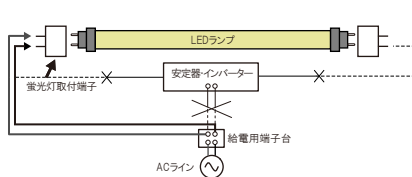
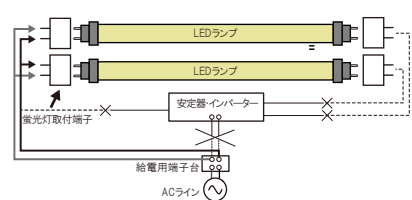
●ご使用の前に器具の配線が配線図（下記参照）の通りに配線されていることを確認して下さい。
●周囲環境温度 -20～ 40℃の範囲でご使用下さい。誤作動、短寿命の原因となります。
●製品の周囲温度が40℃を超える環境での使用は、お避け下さい。
（ 高温環境下で長時間使用すると、熱劣化により、誤作動、短寿命の原因となります。）
●周囲環境湿度 20～ 85%RH(結露しないこと)の範囲でご使用下さい。誤作動、短寿命の原因となります。
●非常用照明、誘導灯には使用しないで下さい。
●調光機能付器具には使用しないで下さい。
●防爆照明器具には使用しないで下さい。
●密閉型器具でのご使用、及び、カバー付器具でのご使用は、過熱による破損または短寿命の原因となります。
●十分に配置・管理して製造していますが、LEDの色・明るさの多少のバラツキは避けられません。予めご了承ください。
●点灯中にLED発光部を長時間直視しないで下さい。目を傷める場合があります。
●清掃の際は、柔らかい布で乾拭きして下さい。ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤及び洗剤などを使用すると破損の原因になります。
●直射日光が当たるところや紫外線が発生する機器の側で長時間使用すると、紫外線により変色することがあります。

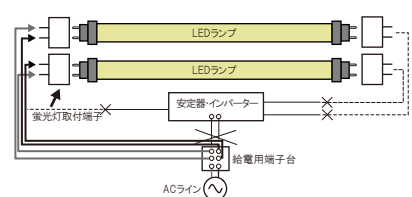
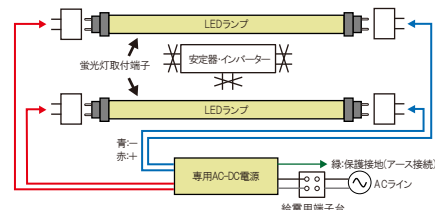
■配線図

電源内蔵形：両側結線方法

グロー（スタータ）式１灯用器具

ラビットスタート式・インバータ(Hf)式1灯用器具

2灯用器具　結線例①

2灯用器具　結線例②

電源内蔵形：片側結線方法

グロー（スタータ）式１灯用器具

ラビットスタート式・インバータ(Hf)式1灯用器具

2灯用器具　結線例①

2灯用器具　結線例②

電源別置形：両側結線方法

電源内蔵形：両側結線方式の場合

1）LED ランプには極性がないため、器具への設置は左右どちらの向きでも問題ありません。
2）LED ランプの両端に AC ラインを結線すれば、2 本あるピンのどちらに接続しても点灯できます。（ピンはランプ内で短絡されています。）

電源内蔵形：片側結線方式の場合

1）給電側表示用シールの貼付をお願いします。（反対に取付けた場合、損焼や事故の恐れはありませんが点灯しません。）
2）誤って「蛍光灯」や「両側給電方式の LED ランプ」を取付けないように、管理の徹底をお願いします。（破損の原因となります。）

電源別置形：両側結線方式の場合

1）epicol 電源別置形の専用電源は、2 灯用となっています。
2）LEDランプは、両側給電方式になっています。片側給電方式の結線で取付けた場合、破損の原因となりますのでご注意下さい。

●グロー（スタータ）式器具の場合、グローランプを取外すのみで使用できる場合もあり、安定器の劣化に伴いLED ランプの劣化を早めることとなります。（工事施工なしでの使用の場合、保証対象外となります。）
●2 灯用以上の器具の場合、器具内ソケット間の渡り配線の状況により、結線方法を選択して下さい。